

おやま 町議会だより



2026年5月1日号

NO.
186



道の駅ふじおやま

待望の「金太郎ベーカリー」オープン

令和8年度一般会計・特別会計予算を可決

- ・各常任委員会 4
- ・賛否が分かれた議案等 5
- ・代表・一般質問に10人が登壇 6
- ・「議員が行く！」 16



発行：静岡県駿東郡小山町議会

億円の予算を可決

裁決により可決

含めた総額は214億円（前年度比4.4%増）

3月
定例会

令和8年第2回3月定例会が2月24日から3月18日までの23日間の会期で開かれました。
定例会では、令和8年度当初予算12件、令和7年度補正予算8件、条例の制定・改正10件等の合計35議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。



菅沼地域優良賃貸住宅整備事業：
令和8年度 **5億 763万円**
(総事業費：11億9,513万円)
※建設費及び30年間の維持管理・運営費

リンク先：
小山町ホームページ内
「PFI法に基づく地域優良
賃貸住宅整備事業」



特別会計・事業会計予算額（全て原案可決）

国民健康保険 19億2,900万円 前年度比 3.3%増	育英奨学資金 270万円 前年度比 8.4%減	後期高齢者医療 3億5,300万円 前年度比 8.7%増	土地取得 1億7,030万円 前年度比 279,082.0%増
介護保険 18億3,000万円 前年度比 0.5%増	宅地造成事業 3億8,900万円 前年度比 109.7%増	木質バイオマス発電事業 6,410万円 前年度比 5.3%減	小山PA周辺開発事業 1億2,990万円 前年度比 14.1%減
温泉供給事業 496万円 前年度比 23.0%増	水道事業 収益的支出 3億8,054万円 資本的支出 5億2,081万円	下水道事業 収益的支出 1億9,407万円 資本的支出 1億8,792万円	

令和8年度予算の詳細な内容は「広報おやま令和8年4月号」をご覧ください。



リンク先：
小山町ホームページ内
「広報おやま令和8年4月号」

令和8年度予算
前年度比
2.8%増

一般会計153

賛否分かれ、議長

一般会計は、過去最大の予算規模！ 特別会計を

天候に左右されない水泳授業の実施、
町内のスポーツ環境の充実、
町民の健康づくりを推進



屋内プール設置

屋内プール整備事業費：

令和8年度 **6億3,921万円**
(総事業費：16億円)

リンク先：
小山町ホームページ内
「町営温水プール基本計画の策定について」



イメージ図

議会の動画配信について



YouTubeでの小山町議会の動画が、小山町公式チャンネルから独立して新たに「小山町議会公式チャンネル」での配信になりました。

令和8年3月定例会から、議会（本会議）全部の様子を、YouTubeで動画配信しました。

下の二次元コードから動画の一覧を表示できます。

今後の議会も、YouTube「小山町議会公式チャンネル」で動画を配信していきます。



リンク先：小山町議会公式チャンネル内
再生リスト「令和8年 小山町議会3月定例会 ライブ配信」

ピックアップ

3月定例会



令和7年度小山町
一般会計補正予算
(第9号)

国や県の補正に基づくものや事業の実績や進捗などにより決算見込額を精査した結果による補正予算。

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ10億4233万3000円を追加し、歳入歳出の総額を、170億3757万5000円とし、継続費、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正をするもので、審議の結果、**賛成多数で可決。**

町有財産の貸付け

須走地区町有診療所を令和8年4月1日から令和18年3月31日までの10年間、診療所を開設する医師に無償で貸し付けるもので、審議の結果、**全員賛成で可決。**

町有地の処分

地区の林業組合に貸し

付けて管理をしていただいている土地について、払い下げの申し出があったことから、当該組合に払い下げるもので、審議の結果、**全員賛成で可決。**

小山町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例

町長の諮問に対する小山町特別職報酬等審議会の答申に基づき、議員報酬の額並びに特別職の職員及び政策監の給料月額について改正するもので、審議の結果、**全員賛成で可決。**

小山町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

農業委員会会長、農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員等について、農業委員会の業務量の増加や他市町の状況等を踏まえ、報酬月額を引

き上げる改正を行うもので、審議の結果、**全員賛成で可決。**

工事請負契約(変更)の締結

令和7年度須走地区町有診療所等整備工事について、新たに発熱外来専用の出入口と通路の追加、電源設備等の新設及び増設が必要になったため、変更契約を締結しようとするもので、審議の結果、**全員賛成で可決。**

YouTubeにて3月定例会の様子をご覧いただけます。



リンク先: YouTube
「小山町議会公式チャンネル・再生リスト」

常任委員会報告



総務建設委員会
委員長 小林 千江子

総務建設委員会に付託された6議案について、3月5日に審査を行い、原案のとおり可決すべきものとししました。主な内容は、次のとおり。

町道路線の変更

町道5061号線の終点は、国道246号に接続されるのか。

国が行う視距改良事業でできる国道の高さと、現況の町道5061号線では高低差があるため接続されません。

小山町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例

報酬審議会において、前回選挙が無投票であったことや議員のなり手不足の現状、物価高騰や他団体との比較について議論がされたか。

議員の年齢構成で若い人が少ないかどうか、経験・知識がある層の議員も必要だが、若い世代にも議員に出てもらいたい、この金額では生活が厳しく、なりたくてもないという議論がありました。

物価高騰についても協議した上で審議され、近隣の自治体の議員報酬の状況を勘案して1万円上げる結論に至りました。

学習塾部分は、既に機械警備が作動しています。新たな診療所部分にも、必要なセンサーを設置することで、建物全体をフォローできるよう警備会社と協議を開始しています。

経費については、学習塾部分は町で支払い、診療所部分は医師が支払います。

建物全体の修繕、改修をやる場合に、費用負担は他の町有診療所と同じ考え方となるのか。

文教厚生委員会
委員長 渡辺 悦郎

文教厚生委員会に付託された3議案について、3月6日に審査を行い、原案のとおり可決すべきものとししました。主な内容は、次のとおり。

町有財産の貸付け

当該建物は学習塾との併設であるが、セキユ

賛否

が分かれた議案等

3月定例会

○ … 賛成 × … 反対 — … 議長は採決に加わりません ※ … 可否同数のため議長裁決

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			平野 正紀	池谷 元	石原 和美	牧野 恵一	臼井 光昭	小林 千江子	遠藤 豪	渡辺 悦郎	岩田 治和	藺田 豊造	米山 千晴	室伏 辰彦	鈴木 豊
議案第7号	令和7年度小山町一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	—
議案第14号	令和7年度小山町小山PA周辺開発事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	—
議案第24号	令和8年度小山町一般会計予算	可決	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	※ ○
議案第26号	令和8年度小山町育英奨学資金特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第28号	令和8年度小山町土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第30号	令和8年度小山町宅地造成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第31号	令和8年度小山町木質バイオマス発電事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第32号	令和8年度小山町小山PA周辺開発事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	—
議案第34号	令和8年度小山町水道事業会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第35号	令和8年度小山町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—

賛成討論

反対討論

議案第24号

令和8年度小山町一般会計予算

【米山 千晴 議員】

小山町の明るい未来に向け更なる発展を目指すため、本予算を基に、着実に施策等を進めていただくことを期待する。

【渡辺 悦郎 議員】

財政運営においては、当然健全性の配慮も欠かせないが、必要な時に必要な投資を行わなければ、地域の元氣も町民生活の安心も守れない。

【池谷 元 議員】

小山町という町を知り、この町から都会に行くことを防ぎ、この町を存続させ、この町があるということ、それを守るためのものである。

【石原 和美 議員】

温水プール建設が進行中であっても、多くの町民の不安や疑問の声を置き去りにしたまま進めることは、議会の責務に反する。

【藺田 豊造 議員】

給与や無駄な事業を見直し、それを町民の福利向上にどう図るかを考え直さなければ、町政への信頼を私は得ることができないと考える。

【平野 正紀 議員】

水道事業会計への繰出金は、不確実な財源や法手続の不備、民間事業への不当関与といった問題があるため、断じて許されない。



米山 千晴

(新生会)

YouTubelにてこの
代表質問の様子が
ご覧いただけます

リンク先：YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会：米山千晴 議員」



山火事・火の不始末への警戒を促す屋外掲示

Q 込山町長の進める小山再稼働の進捗について

A 今後も積極的に企業誘致に取り組んでいきます

Q 現在、造成整備事業が完了している「上野工業団地」や、周辺道路整備事業が完了した「足柄SIC」周辺の観光事業等は、再稼働のスタート事業である。

着実に前進している状況があれば伺う。

A 町長

残念ながら、未だ誘致

には至っておりません。上野工業団地については、事業協力者と共に静岡県との協力を得ながら企業誘致に努めていきます。

足柄SIC周辺の観光事業については、開発事業者と共にさまざまなネットワークを駆使して企業誘致に取り組んでいきます。

Q 小山町第5次総合計画の折り返しの中で見えてきた状況変化に対する課題と、その課題に対する令和8年度予算に配慮した事業について伺う。

A 町長

本町の直面する最も大きな課題は、人口減少及び少子化の進展であります。

課題解決のため当初予算に盛り込んだ施策は、給食費・医療費無償化などの子育て世帯の負担軽減策、ALT派遣事業の拡大などの教育環境の充実、用沢大畑ヶ地区宅地造成事業などの移住・定住促進策であります。

Q 現在全国各地で発生している林野火災について

A 林野火災発生時の対応と復旧に努めていきます

Q 全国各地で冬場に林野火災が頻繁に発生している。県内及び近隣の山梨県や神奈川県でも大規模な林野火災が発生している状況である。

山林火災は、一度発生すると直ぐには消し止められず、長期化することが多い上に、消し止めるのに必死であるのに住宅にも飛び火している状況もある。

小山町の山林の管理状況を伺う。

A 町長

日常管理は、森林所有者にお願いしています。また、適正に管理された森林の創出に努めており、下層植生を誘導することで保水力を高め、燃え広がりにくい森林づくりを行っています。

Q 火災痕がどのような状態になり、二次災害はあるのか。

A 町長

林野火災により植生が失われると、土砂崩れや流木が発生しやすくなり、河川被害や環境被害などを引き起こします。

A 町長

県へ空中消火活動を要請し、大規模林野火災対策を行います。また、消失森林は国や県の補助金制度を活用し、被害木除去や植林など早期復旧に努めます。

Q 費用や労力の協力を受ける手立てはあるか。

そのほか「小山町が積極的に情報発信ができていくのか」を質問しました。



牧野 恵一

(町民本位の会)

YouTubeにてこの
代表質問の様子が
ご覧いただけます

リンク先：YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会：牧野恵一 議員」



町営塾が計画されている健康福祉会館

Q 総合計画は機能しているか、令和8年度予算を問う A 健全な財政を維持し総合計画の施策を着実に進めます

Q 令和8年度開始の総合計画基本計画では、人口減少対策、子育て支援、地域共生、防災強化などに横断的に取り組むとしているが、これらへの取り組みの成果は指標化して説明すべきではないか。

A 町長

第5次総合計画後期基本計画は、令和7年12月定例会で議決を経て、明確に令和8年度予算へ反映することができました。全ての予算事業は、後期基本計画の中の基本施策と紐付けされており、おのおのに設定した指標により、施策の進捗状況や成果を測ることが可能になっています。

Q 令和6年度決算では、経常収支比率が89・4%と財政の硬直化が進んでいる。特定目的基金は令和2年度の46億円から令和6年度には24億円と約

22億円減少している。工業団地からの固定資産税の増収も、投じた税金に比べれば微々たるもので、いつ元が取れるか見当がつかない。耐震性のない役場庁舎や北郷支所も放置したままである。

A 町長

工業団地の造成や企業誘致、ふるさと納税等を推進したことで、ふるさと納税の増と過去最大の固定資産税額につながり、3年前に策定した「長期行財政運営計画」の危機的状況にはなっていない。当初予算編成において、国・県の交付金対象事業でも優先度を検討することや、事業の必要性を再検討し、町単独事業の見直しも徹底しました。

Q 人件費、扶助費、公債費など義務的経費が財政

を圧迫する構造は変わっていない。DXによる業務の効率化や、町民サービスの向上などの構造改革に取り組んでいるのか。

A 町長

扶助費は、社会全体で支えるために、また、町民の生活及び福祉の充実のために必要であるので予算を確保していきます。人件費は、人材確保のための処遇改善等も考慮しつつ、機構改革や定員管理により削減に努めます。引き続き一般財源の歳入削減を図り、持続可能な財政運営に努めます。

Q 総合計画を基本にした予算説明と並行して「町長の政策提言」に基づく予算付けをしている。しかし、総合計画こそが有識者の審議や町議会の議決を経た小山町の最上位計画である。行政システムを二層化し、行政責任

を曖昧にする取り組みは再考されるべきである。

A 町長

近年の首長選挙では政策提言を掲げ、就任後に政策実現のため総合計画へ反映させ、実施する流れとなっています。本町においても総合計画後期基本計画は、町長政策提言を踏まえ、町民意識調査や審議会委員の皆様の見解を反映したものです。当初予算の説明において、総合計画と政策提言が二層化に見える点については、今後、誰もがわかるよう工夫をしていきます。



石原 和美

(無会派)

YouTubelにてこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます



リンク先: YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会: 石原和美 議員」



清川村（神奈川県）が建物を整備し、公設民営方式で誘致したドラッグストア

Q 北郷地区の買い物環境改善に向けた取り組みについて

A ドラッグストア誘致に向け継続して交渉していきま

小山町には3軒のマーケットがあるが、人口の一番多い北郷地区には1軒もない。地域から、マーケットやドラッグストアが欲しいという要望も多い。それらに向けた町の取り組み方針について伺う。

めて高く、事業者と協議
をしています。

Q 誘致交渉において障壁
となっている周辺環境上
の要因とは。

A 企画政策課長

商圏範囲の人口密度が
十分でないこと、投資回
収のスピードなどが、出
店判断の大きな分析材料
と把握しています。

Q そのハードルを下げ誘
致を成功させるために町
が考える支援策は。

A 企画政策課長

出店後も短期間で撤退
されないよう、条件など
を事業者と協議する必要
があります。事業者の負
担を軽減する公設民営方
式について、国の交付金
活用も視野に入れた検討
をしていきます。

Q 災害時の水の備えについて

A 非常用飲料水・生活用水の確保に努めます

近年、地震などの災害が激甚化、頻発化して
おり、その際、小山町にも甚大な被害が予想さ
れる。特に水不足は深刻な問題となる。そこで
小山町の災害時の水の備えに関する現状と課題
について伺う。

Q 自助としての日頃の
水の備えに対する町民へ
の啓発活動は。

ています。

Q 個人等の所有井戸を緊
急時に無償提供する井戸
登録制度の導入は。

A 危機管理局長

個人宅の井戸は、各地
域の防災対策に必要な資
源であるので、所有者へ
災害時の利用協力をお願い
していきます。

Q 現在の非常用飲料水の
備蓄状況は。

A 危機管理局長

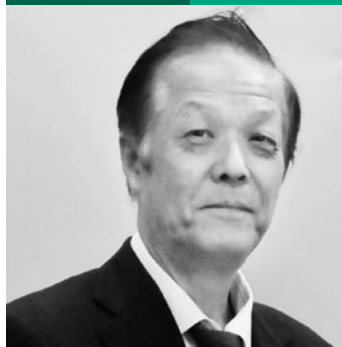
町では飲料水を全量で
6444リットル備蓄し
ています。

災害発生に伴う飲料水
支援については、町内外
の飲料水製造企業等5社
と協定を締結しており、
支援の要請ができる体制
を整えています。

Q 井戸や湧水の把握状況
は。

A 危機管理局長

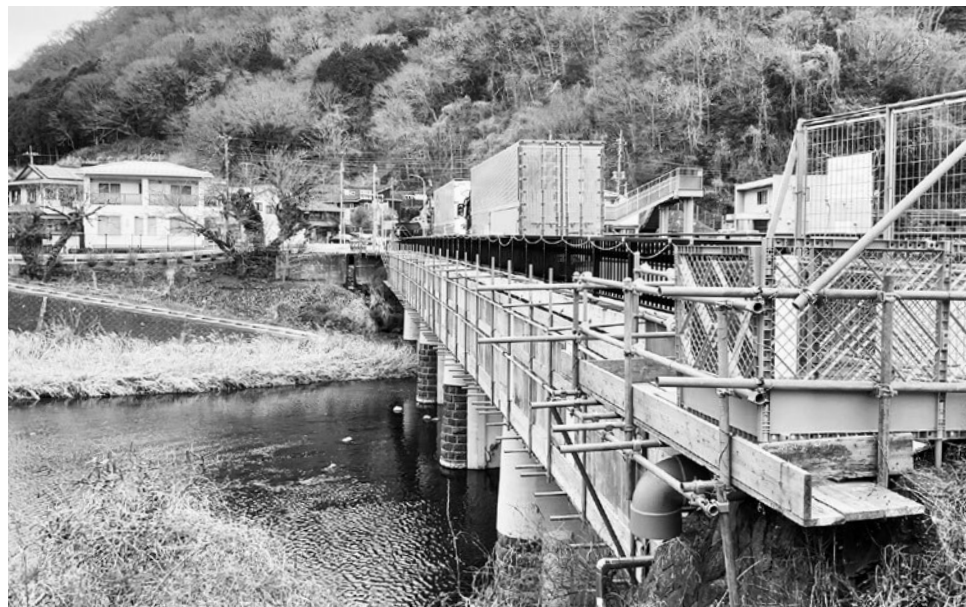
代替水源は井戸99か
所、湧水5か所を把握し



室伏 辰彦
(治政会)

YouTubeにてこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます

リンク先：YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会：室伏辰彦 議員」



信号待ちのトラックが並ぶ富士見橋

Q 町道小山白岩線と国道246号との接続道路建設について

A 関係機関との協議や調整を進めます

小山地区にある信濃高原食品株式会社に入
りしているトラックは、小山交番前の富士見橋
を渡り健康福祉会館を曲がって工場へと通行し
ている。交番前の信号機は、トラックの後ろにつ
くと車から見えない。また、トラック2～3台が
通ると信号機が青から赤に変わってしまう。

健康福祉会館前には誘導員がいるが、時間帯
によってはいないこともある。加えて健康福祉
会館の前は通学路でもある。

工場から町道小山白岩線の踏切までの道路は
すでに整備されているが、そこから先の国道2
46号までつながる部分が未だに整備されてい
ない。早期の実現を望む声は非常に多いのが現
状である。次の点を伺う。

Q 町民が早期に整備を望
んでいることをどのよう
に捉えているのか。

A 都市基盤部長

信濃高原食品株式会社
に出入りしている多くの
トレーラーやタンクロー
リー車が、県道駿河小山
停車場線の富士見橋を渡
り、健康福祉会館前を通
過していく様子は、道路
管理者として常々注視し
ています。

Q 小山交番前の信号機が
見えないという問題に対
して、地元区長などへの
ヒアリングはいつ頃行
うのか。

小山交番前の交差点は
県道の交差点ですので、
静岡県や町の交通安全対
策担当課と情報の共有を
図り、地元区長などへの
ヒアリングを行いたいと
考えています。

A 建設課長
令和8年5月末までに
は、意見の集約ができる
ように進めたいと考えて
います。

Q 計画どおり実現するの
か。

A 都市基盤部長

町道小山白岩線の改良
整備計画については、丸
善食品工業株式会社が道
路法24条の規定による承
認工事として整備した、
グループ企業である信濃
高原食品の工場へつなが
る町道1689号線と接
続させる計画です。

全体事業費を試算した
ところ膨大な事業費が必
要となることから、現在、
国庫補助金を財源とした
経済的な事業手法を検討
し、補助金以外の費用負
担について丸善食品工業
株式会社との協議、調整
を行っています。町とし
ましても早期に事業着手
ができるよう、スピード
感をもって取り組んでい
きます。

Q 関係機関との調整や課
題解決に向けた協議を進
め、早期に事業着手がで
きるよう、スピード感を
もって取り組むとのこと
だが、関係機関との調整
の期間はどのくらいか
のか。

A 建設課長

協議の進展に合わせ、
今後は国道246号との
交差点接続に伴う国土交
通省や警察との協議、鮎
沢川への棧道橋設置に伴
う静岡県との河川協議、
及び関係地権者などへの
事業説明が必要となりま
す。したがって、現時点
で具体的な期間はお示し
できません。



池谷 元

(治政会)

YouTubelにてこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます

リンク先：YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会：池谷 元 議員」



富士スピードウェイ周辺の開発が進み、交流人口の増加に期待

Q モータースポーツを活用した小山町の地域振興は A モータースポーツを活かしたまちづくりを推進します

小山町は、全国的にも有名な国際的なサーキットを有する町であり、そのサーキットは国内外から多くの来場者を集める大きな資源である。しかし、その経済効果が町内に十分に波及しているとは言い難く、町の成長戦略としてモータースポーツをどのように位置付けるのか、現状認識と今後の方向性を伺う。

プログラムを導入する考えはあるのか。

A 教育次長

現在、教育プログラムの取り組みとして、小学5年生がトヨタ自動車東日本の出前授業を受けています。また、小学校高学年の児童が、毎年富士スピードウェイで開催されるWEC（世界耐久選手権）の見学会に参加しています。さらに、中学生では、富士スピードウェイに職場体験実習に行く生徒がいます。

次世代モビリティ産業等に対しても事業協力者と共に積極的に誘致を行っていきます。

町は、モータースポーツを地域振興の柱としてどのように位置付けるのか。また、モータースポーツの町としてのブランド化を進める考えがあるのか。

Q 町は、モータースポーツを地域振興の柱として

町は、富士スピードウェイの来場者による町内消費の現状を把握しているのか。

A 経済産業部長

来場者の町内消費は消極的で、課題として捉えています。富士スピードウェイと連携した情報発信や周遊促進により、消費拡大を図っていきます。

A 経済産業部長

ル・マン市との国際友好交流などを活かし、「モータースポーツのまち」としてのブランド化を段階的に推進しながら、地域振興の重点分野として、地域活性化につなげていきます。

モータースポーツは理科・工学教育、キャリア教育、職場体験など、子どもたちの学びに直結する可能性がある。町内の小・中学校と連携し富士スピードウェイや自動車メーカーと協力した教育

モータースポーツ関連企業や、次世代モビリティ産業の誘致は考えているのか。

フロンティア推進課長

富士スピードウェイ隣接地の小山PA周辺整備事業エリアや、湯船原地区に整備した工業団地に、

富士スピードウェイと連携し、子どもや若者の体験機会の充実や、地域イベントと結び付けながら、モータースポーツを地域に根ざしたスポーツとして発展させていきます。

富士スピードウェイと連携し、子どもや若者の体験機会の充実や、地域イベントと結び付けながら、モータースポーツを地域に根ざしたスポーツとして発展させていきます。

富士スピードウェイと連携し、子どもや若者の体験機会の充実や、地域イベントと結び付けながら、モータースポーツを地域に根ざしたスポーツとして発展させていきます。



遠藤 豪
(新生会)

YouTubeにてこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます

リンク先：YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会：遠藤 豪 議員」



有害鳥獣捕獲のための罠にかかったシカ

Q ツキノワグマの対応と緊急銃猟について

A ツキノワグマの実態を把握し、人とクマの共存に努めます

近年、クマが人の生活圏に出没する事態が増え、人身被害も相次いでおり、小山町でもクマ出没の同報無線による注意喚起がされている。

緊急事態の発生が見込まれる場合の緊急銃猟について伺う。

A 経済産業部長

生活圏付近でのツキノワグマの徘徊が終息せず、人命に危険が迫る緊急事態には、緊急銃猟ガイドラインに基づき、銃猟による捕獲を行います。

クマに出会わないための対策と、クマスプレーの購入補助は。

A 林業振興課長

鈴やラジオなどを鳴らし、クマに人の存在を知らせることが効果的です。またクマスプレー購入補助は、今後の動向を注視し検討します。

Q 中山間に位置する本町におけるツキノワグマの現状は。

A 経済産業部長

今年度の目撃通報件数は10件で、昨年度と比較すると減少傾向です。生

息頭数は推計値で富士地域個体群では102頭、丹沢山地では約80頭生息しているとされています。

Q クマ出没時の対応と、人命に危険が迫るような

Q 有害鳥獣による農作物被害とその対応は

A 小山町鳥獣被害防止計画により3つの対策を推進します

有害鳥獣による農作物被害は、農業を営む方々の生活に直結し、農業経営の意欲低下につながり、ひいては離農や耕作放棄地の増加も考えられる。

Q 町内における農作物被害面積と被害額は。

A 経済産業部長

令和6年度の被害は、野菜や水稲が主なもので、被害額は893万7000円、面積は469アールです。

Q 被害を防ぐ手だてと対策は。

A 経済産業部長

鳥獣被害防止計画により①寄せ付けない②鳥獣を侵入させない③罠や銃による捕獲を実施するとともに、定期的にセミナーを開催しています。

Q 有害鳥獣の捕獲に対する補償金と、それに対する国からの補助は。また、協力いただく駿東猟友会小山支部の現状は。

A 農業振興課長

国から成獣1頭7000円を交付し、町から追加支援として1頭4000円を交付しています。

駿東猟友会小山支部の

会員数は46人で、銃猟の資格者は22人、わな猟の資格者は40人、平均年齢は56歳です。

Q 捕獲従事者の確保と育成に対する対策は。

A 農業振興課長

狩猟免許取得費用の補助や、センサーカメラなどのICT機器の活用により、従事者の負担軽減を図っています。



白井 光昭

(町民本位の会)

YouTuberにてこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます

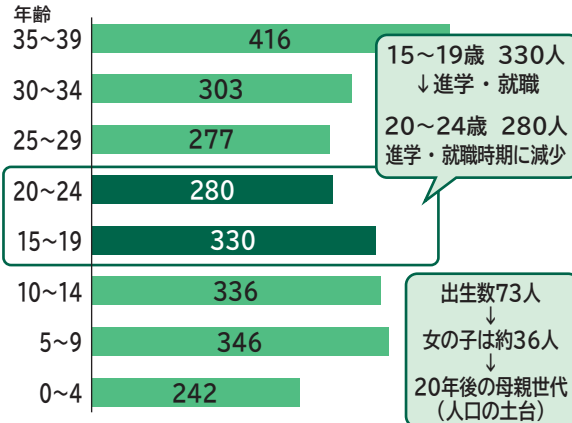
リンク先: YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会: 白井光昭 議員」



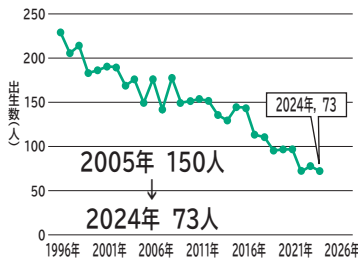
進学・就職で若い女性が町外へ －小山町の人口構造－

人口ピラミッド

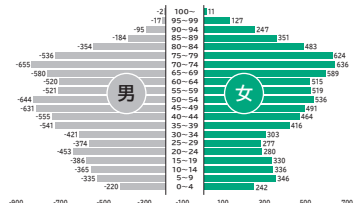
小山町 2025年1月1日の人口構成(日本人のみ)



出生数は20年で半減



小山町の人口構造(日本人)



娘出る 今こそ町の 知恵どころ

Q 若年女性の減少と町の将来について

A 小山町に住みたいという意識の醸成を図っていきます

小山町の出生数は、2005年の150人から2024年には73人へと半減した。この背景には、子どもを産む世代そのものの減少がある。実際に20代・30代の女性人口は20年前と比べ大幅に減少している。例えば、2025年の女性人口を見ると、15～19歳は330人だが、20～24歳では280人へと進学・就職時期に大きく減少している。若年女性の減少は出生数の減少に直結し、町の将来に大きな影響を与える重要な課題である。

こうした状況を踏まえ、若い世代が将来に希望を持ち、小山町で暮らし続けたいと思える環境づくりが必要ではないかとの問題意識から、次の点について伺う。

◎若年女性の減少を、町の将来に関わる重要課題としてどのように認識しているのか。

A 企画総務部長

町は、若年女性を含めた若年層の減少を重要課題として捉え、平成27年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。多様な雇用機会の創出や住環境の整備を進め、若者世代の結婚・出産・子育ての希望に応

えることで、若年層の社会減を食い止める施策を推進しています。

◎若年女性が町を離れる主な要因を、町としてどのように分析しているのか。

A 企画総務部長

「小山町に住み続けたいか」などについて、中学生及び15歳から29歳までの若者を対象としたアンケートを実施しました。

アンケートの結果では、生活の利便性に対する課題だけでなく、町の教育環境や産業構造に課題があることがわかりました。生活利便性の向上に加え、教育や仕事に関する施策を積極的に推進していきます。

◎子育て支援策に加え、進学時点から町との関係を維持するなど、若年女性の流出防止策を検討する考えはあるのか。

A 企画総務部長

小学生及び中学生の早い段階から本町への愛着を深め、地域のことを知ってもらおうと「ふるさと金太郎博士事業」を行っています。具体的な活動として、企業見学や職場体験なども実施しています。小さい頃から町や地域への愛着を深め、地元企業の魅力を知っていただく機会を増やしていきたいと考えています。

◎7年早く進む少子化という現実を前に、従来の延長線上で対応するのか、それともα(アルファ)世代(2010年頃から2024年頃までに生まれた世代)に対応する新たな流出防止を最重要戦略として再構築するのか。

A 企画総務部長

小山町総合計画の後期基本計画の中で重点プロジェクトに位置付けたとおり、若者や女性が希望を持てる環境づくり「育てたい、暮らしたい、帰りたい」まちづくりを進めていきます。



平野 正紀

(無党派)

YouTubeにてこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます

リンク先: YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会: 平野正紀 議員」



仲間とのだんらんが楽しい「おでかけクラブ」

◎ 将来を見据えた水道インフラの安全確保について

A 計画的な更新と耐震化で安全な水を将来へつなぎます

水道事業経営戦略の今後の展望、災害への備え、老朽化対策など安全性を最優先とした事業運営について伺う。

き老朽管の更新を計画的に進めていきます。

判断される場合には、財政状況を見極め、優先的に予算配分を検討していきます。

急給水体制の強化にも努めていきます。

◎ 施設や管路の老朽化による災害時の被害拡大や長期断水のリスクへの認識は。

A 都市基盤部長

災害発生時の破損による断水は町民生活に支障が生じることから、計画的な対策が不可欠であると考え、経営戦略に基づ

◎ 災害時に影響する老朽化施設や管路は、更新時期を前倒しして先行的に対応する必要があるのでは。

A 上下水道課長

前倒しが必要であると

◎ 町内の水道事業者は、大地震が発生すると町の水道はズタズタになると指摘しているが。

A 上下水道課長

被害が甚大になると想定される基幹管路の耐震化を最優先とし、他自治体との広域連携による応

◎ 災害への備えに向けた先行的な更新には、一定の財政負担や水道料金見直しの検討が想定されるが。

A 都市基盤部長

安全確保のための投資、財源の確保は必須です。まずは、経営の効率化による経費削減に努めていきます。

◎ 介護予防の充実と生きがいづくりの推進は

A 住み慣れた地域で安心して暮らせるよう取り組みます

高齢者が健康で安心して暮らし続けるため「介護予防」と「自立支援」の今後の取り組みについて伺う。

◎ 介護予防事業を担うボランティア等には、町はどのような支援を行っているか。

◎ 介護予防事業を担うボランティア等には、町はどのような支援を行っているか。

A 介護長寿課長

お互い様の助け合いの地域づくりを目指す取り組みを推進し、さまざまな取り組みが生まれるような後押しと、活動を続けられるよう支援をしていきます。

◎ 町が現在取り組む介護予防事業の一般的な実施状況は。

A 住民福祉部長

介護予防教室の開催、健康状態不明者への訪問等個別支援等を行っており、昨年度の介護予防教室等の延べ参加者数は8600人でした。

◎ フレイル予防の観点から体力測定、栄養状態、口腔機能などの評価を事業に活用しているか。

A 住民福祉部長

体操教室での運動強度の変更や事業内容の検討、継続的な訪問支援に活用しています。

A 住民福祉部長

通いの場の運営団体へは補助金の交付や講師の派遣を、ボランティアの方にはフォローアップ講座を行っています。

◎ 介護予防の充実と生きがいづくりの推進のため、町民にどのような参加や



岩田 治和

(町民本位の会)

YouTubeにてこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます

リンク先: YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会: 岩田治和 議員」



狭小道路の多い通学路（明倫小学校）

Q インフラ整備の重要性について

A 主要な道路の整備を進めていきます

近年、晩婚化、未婚化などの影響により出生率の低下が生じ、急速に少子化が進み、深刻な社会問題となっている。小山町においても人口減少は顕著であり、昭和35年の2万9000人をピークに令和8年1月現在1万7000人を下回るまでに減少し、さらに現在の減少傾向から、30年後には1万500人程度までに減少すると推計されている。

今後、まちづくりの大きな課題としては、若者が定住しやすい環境をつくり、人口増加を図ることが不可欠である。

そこで、主要道路の整備は重要な課題と考える。特に、成美、明倫地区の整備が大きく遅れている状況である。通学路についても車1台がようやく通れる程度の狭小道路に指定されていたり、家を新築したくとも建設基準法に基づく接道要件（幅4メートル以上の道路に2メートル以上面している）に満たないことから、建築ができず町外に転居する例も数多く見受けられる。

今後、住環境のインフラ整備は、定住促進及び移住人口の増加策からも重要な課題であり、特に、町道整備の遅れている成美、明倫地区は空き家がさらに増加するおそれがあり、若者は町外へと移住する傾向がさらに増すと考える。

Q 町道足柄三保線の整備を進めているのか。

A 都市基盤部長

明倫小学校南側区域で

菅沼谷戸地区土地区画整理事業の計画検討を進めており、事業区域内を通

過する幹線道路として町

道足柄三保線を整備する計画であります。土地区画整理組合設立後に整備に着手していきます。

Q 国道469号の御殿場市仁杉からの東方向への延伸予定はあるのか。

A 都市基盤部長

平成18年から国道469号建設促進期成同盟会に加盟し、起点の変更及び延伸するよう国や県に申し立てを行ってきました。現在もなお事業化には至っていない状況ではありますが、今後も、周辺の開発状況も踏まえつつ、関係自治体と連携し、引き続き接続を含めた整備の必要性を要望していきます。

Q 国道246号の4車線化の進捗状況は。

A 都市基盤部長

国土交通省沼津河川国道事務所による地元説明会を開催し、現在は奈良

橋ICから須川橋までの区間において実施設計を行い、奈良橋ICのフルインター化をはじめとする道路線形や道路構造の検討を行っています。

Q 国道246号上りにおける休日午後の慢性的な渋滞の解決策はあるのか。

A 都市基盤部長

町は一般国道246号バイパス建設促進期成同盟会に加盟しており、毎年、国土交通省と財務省へ国道246号の4車線化整備を加速していただくよう要望活動を行っています。国土交通省に一日も早く事業を完了させていただくことが渋滞などの問題解決にあたりと考えています。

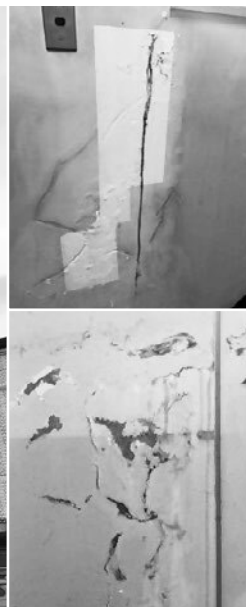
今後もし引き続き、しっかりと要望を行っていきます。



小林 千江子
(新生会)

YouTubeにてこの
一般質問の様子が
ご覧いただけます

リンク先: YouTube
小山町議会公式チャンネル
「令和8年 第2回 3月定例会: 小林千江子 議員」



見かけは丈夫、でも中身はボロボロ。あと何年持ち堪えられるのか…

Q 新庁舎整備の方向性は

A 将来の見通しを立てるなど検討を深めていきます

現在の町庁舎は建設から40年以上が経過し、耐震性能の不足や設備の老朽化が指摘されている。また、鮎沢川の洪水浸水想定区域や、富士山噴火時の溶岩流到達可能性など、防災面の課題も指摘されている。

Q 今後どのような考え方で庁舎の維持・整備を進めていくのか。

して、新庁舎整備に向けた検討を加速させます。

A 企画総務部長

本庁舎は、行政サービスの提供及び防災拠点として、最重要の施設です。

Q 小学校区ごとの特徴や検討結果をどのように整理しているのか。

各小学校区ごとに地形や用地確保、他地区との連続性などを総合的に評価

A 企画総務部長

利便性向上や財政負担軽減を図りつつ、次世代に継ぐ安全・安心な拠点と

Q 小中一貫教育と少子化対策、教育と町の連携は

A 小中一貫教育と住環境の連動で町の魅力を高めていきます

教育委員会では教育の質を維持し地域に学校を残すことを目的として、令和9年度から小中一貫教育の導入を予定している。しかし、少子化への対応は教育施策だけではなく、定住促進や子育て支援など町全体の政策と連動させる必要がある。

Q 小中一貫教育の取り組みと少子化対策・まちづくり施策をどのように連動させていくのか。

令和8年度からの総合計画後期基本計画に基づき、住宅整備等による定住促進と、医療・給食費

A 企画政策課長

令和8年度からの総合計画後期基本計画に基づき、住宅整備等による定住促進と、医療・給食費

Q 今後さらに少子化が進んだ場合、小中一貫教育だけでは学校運営が難しくなり、教育拠点の再編、学校施設の複合化なども議論される可能性がある。

の無償化などの子育て支援を実施していくことで、小中一貫教育の魅力向上に連動させていきます。

町として将来的にどのような学校像・教育体制を目指しているのか。

A 町長

教育委員会と連携し、小中一貫校の計画を着実に進めていきます。将来的には施設の一体化や地域拠点化も視野に入れ、9年間の一貫教育を本町の持続可能なまちづくりの一つとして構築していきます。

第4回

議員が行く！

まちかどインタビュー



道の駅ふじおやま

「金太郎ベーカリー」

店長 笹原 亮一さん



○東京の高級フルーツ店に勤務していたと聞きま

した。
横浜高島屋の千疋屋総本店で18年ほど勤務して、洋菓子販売の面白さを体感してきました。

○イチオシの商品は。

小山町特産「こでしか」のイチゴを使ったフルーツサンドです。地場産トマトを生地に練り込み、良質なチーズを入れたアメリカトマトパンもオススメです。

○どんなお店にしていきたいですか。

地元食材の価値を上げて「金太郎ブランド」として発信していきたい。小山町にもこんなお店が



フルーツサンド

あるんだという認知度を上げて集客や雇用につながるロールモデルにしていきたいです。

○小山町、小山町議会への思いは。

地場産食材を通じての「食の賑わい」を創出して小山町や道の駅の集客向上につなげてほしい。小山町に住んで良かったと思うようなまちづくりに期待しています。

(聞き手 平野 正紀)

議員研修報告

【駿東郡議会議長会広報研修会】

於 小山町健康福祉会館



講師の矢嶋洋美先生

議会だよりは、町の大切な情報や議会の取り組みをわかりやすくお伝えするものです。同時に、議会をより身近に感じていただくための大切なコミュニケーションツールでもあります。

しかし、「文字が多くて難しそう」「自分の生活には関係なさそう」といった印象から、実際にはあまり読まれていないという声も、私の周りです。

そうした中、駿東郡3町の議員が参加する研修



長泉町、清水町、小山町の議会議員の皆さん

会において、議会広報アドバイザーの矢嶋洋美先生より、「議会だより」が持つ可能性について学ばせていただきました。

町民の皆さまの税金で作られているからこそ、読まれずに終わってしまふのは大変もったいないことです。思わず手に取りたくなる、そして少し楽しみになる……そんな議会だよりを目指し、今回の学びを活かしながら改善を重ねてまいります。ぜひご期待ください。

(記 小林 千江子)

令和7年度

議会報告会を

開催しました。

2月6日に健康福祉会館で議会報告会を開催しました。

議会報告会の詳しい内容は、二次元コードから「町のホームページ」をご覧ください。



リンク先:
「議会報告会を開催しました」

6月定例会の開催予定

6月4日(木) 開会

町長提案説明

6月9日(火)

一般質問

6月10日(水)

一般質問(予備日)

6月12日(金)

総務建設委員会

6月15日(月)

文教厚生委員会

6月19日(金) 閉会

委員長報告・討論・採決等

いづれも、開会時間は10時の予定です。

決定次第、無線放送等でお知らせします。

編集後記

3月定例会が閉会し、議場に満ちていた緊張感が静けさへと戻りました。この季節は、地域の息づかいを改めて感じます。一方で世界では中東情勢の緊張が続き、私たちの暮らしにも静かに影を落としていきます。だからこそ、足元の風景や人の温かさが、いつも以上に感じます。

この3月、町はオーガニックビレッジ宣言を行い、自然と共に生きる未来へ新たな一歩を踏み出しました。畑に吹く風、子どもたちの笑顔といった日常のひとこまが、町の未来を育てる力になることを願っています。世界が揺れる中でも私たちの暮らしは続いていきます。これからも町民の皆様と共に確かな歩みを重ねてまいります。

(記 池谷 元)

編集委員

委員長 平野 正紀
副委員長 池谷 元
委員 石原 和美
委員 牧野 恵一
委員 小林 千江子
委員 室伏 辰彦

発行責任者／議会議長 鈴木 豊 編集／広報広聴委員会

〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲57-2 電話:0550-76-6141 FAX0550-76-6033 Eメール gikai@fuji-oyama.jp